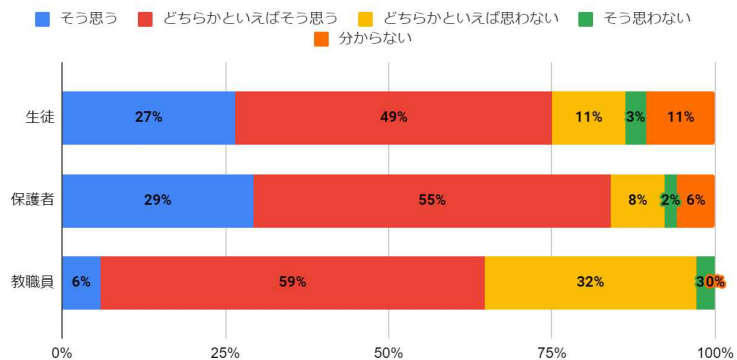


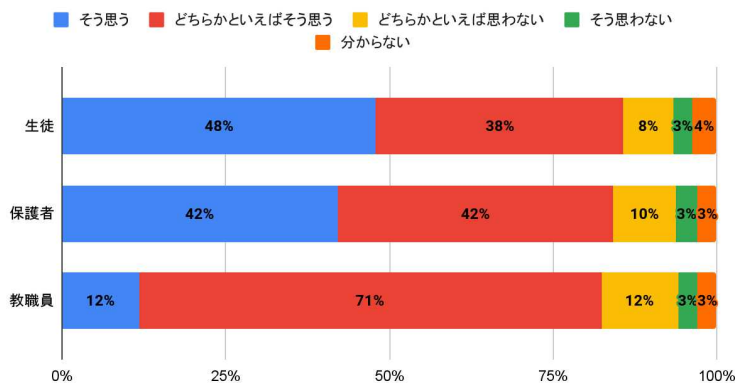
令和 3 年度
自己評価結果報告書
学校関係者評価結果報告書

令和3年度学校評価アンケート 集計結果一覧

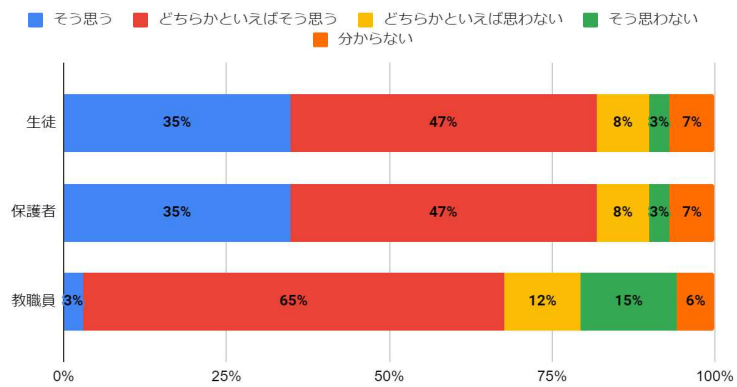
設問1. 学校の教育方針や教育目標をわかりやすく説明している。



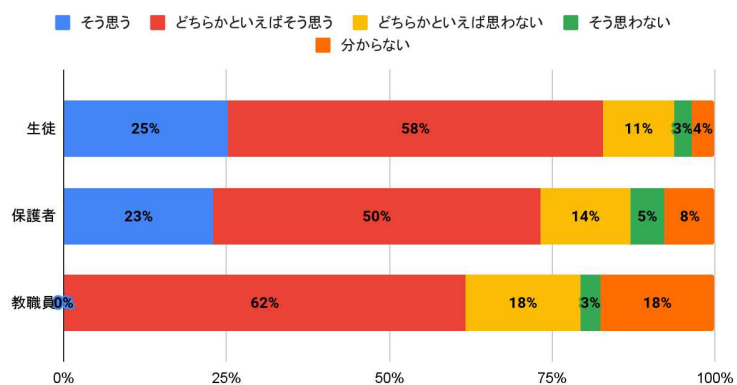
設問5. 充実した学校生活を送っている。



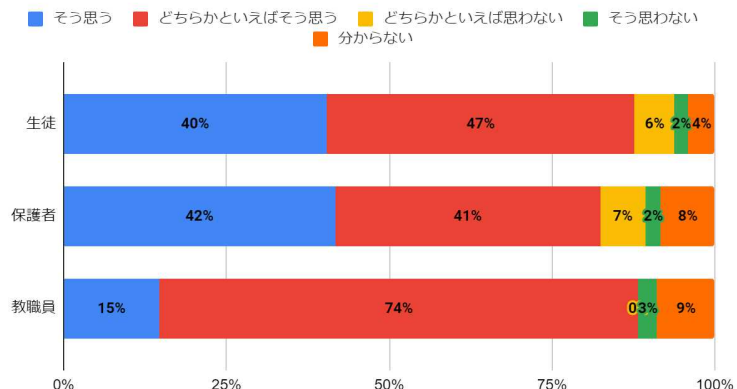
設問2. 互いに連携協力して教育に取り組んでいる。



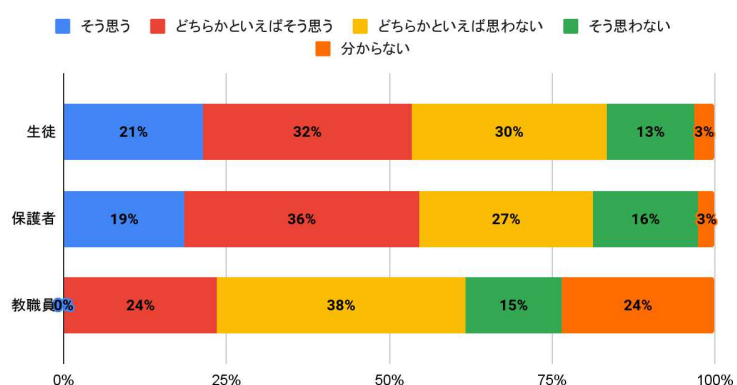
設問6. 積極的に授業に臨んでいる。



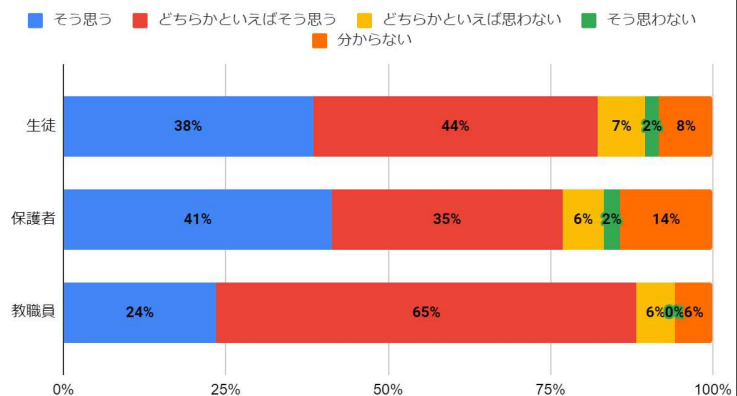
設問3. (教職員または学校について) 親切で、指導に情熱が感じられる。



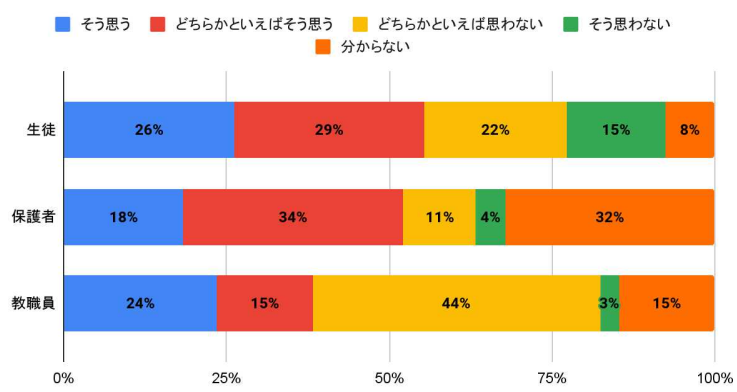
設問7. 積極的に家庭学習に取り組んでいる。



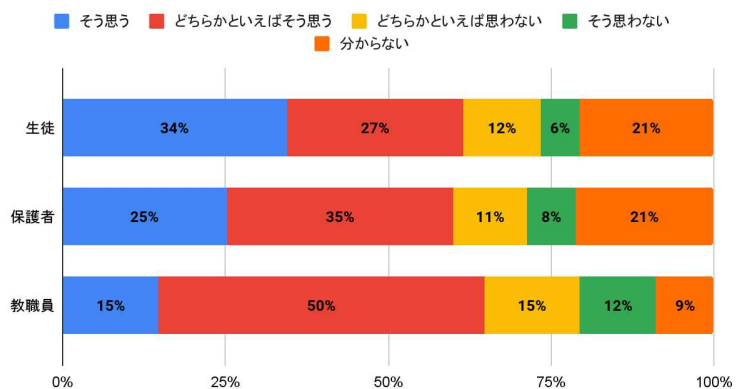
設問4. 全体として生徒の面倒見が良い。



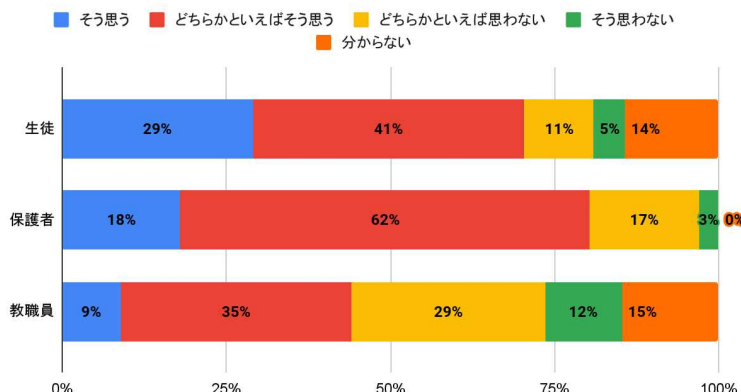
設問8. 全体として宿題は多いと思う。



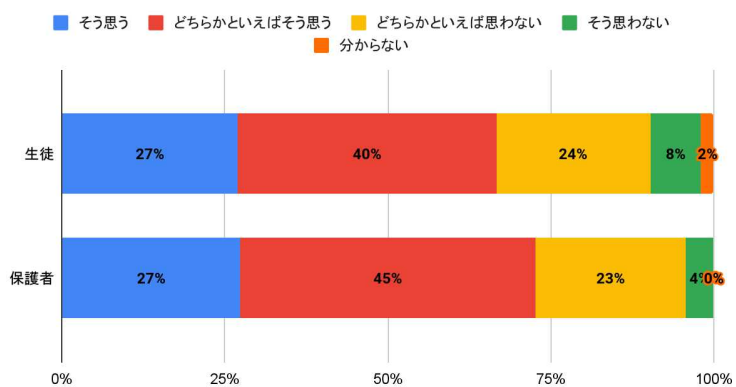
設問9. 部活動(同好会を含む)の練習内容や練習量は適切である。



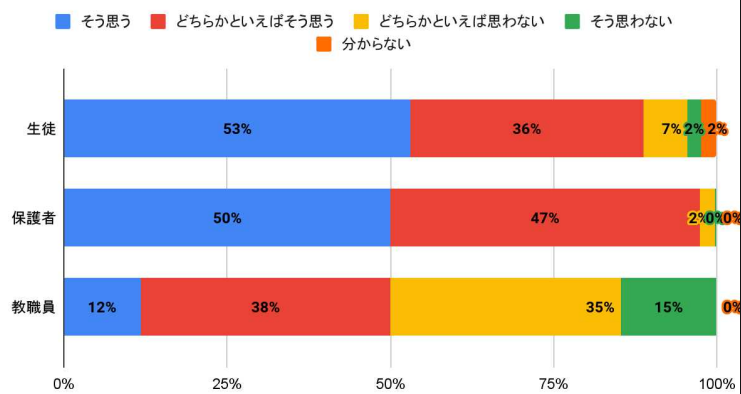
設問13. (生徒指導について) 生徒主体の活動(ボランティアや生徒会等)は充実している。



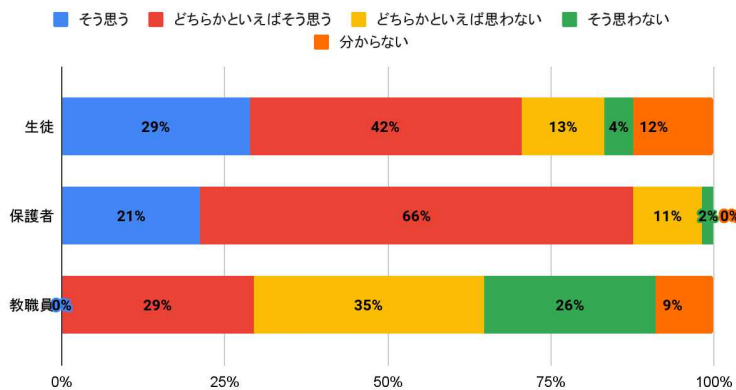
設問10. 基本的な生活習慣が確立できている。



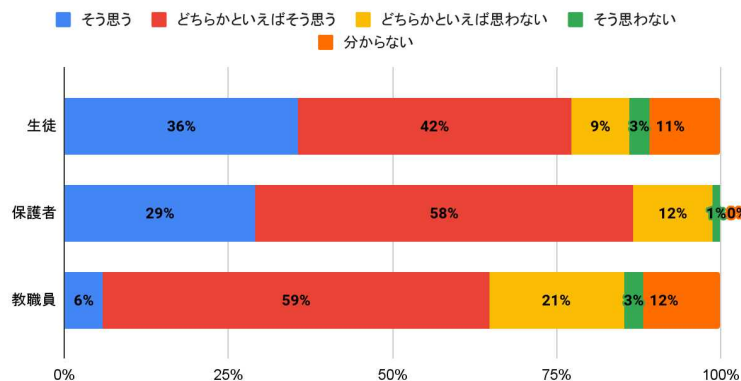
設問14. (生徒指導について) 校内は清掃がよく行き届いている。



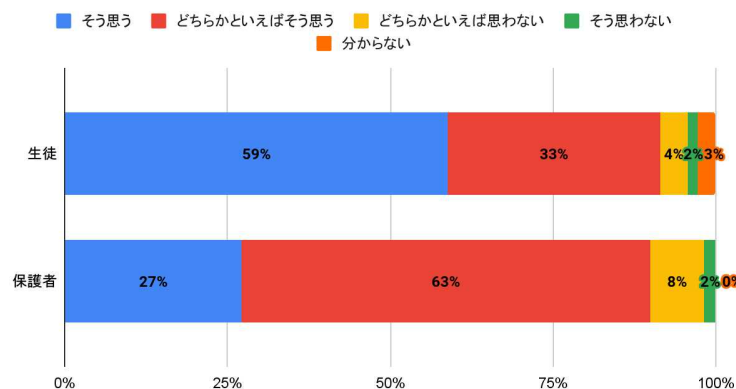
設問11. (生徒指導について) 人権教育や道德教育が充実している。



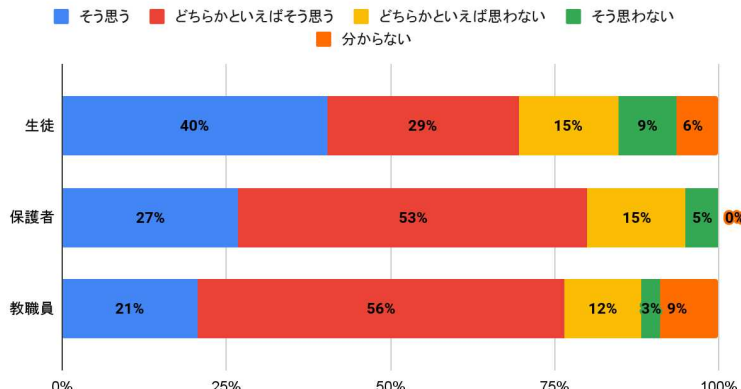
設問15. (進路指導について) キャリア教育(社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度の育成のこと)は充実している。



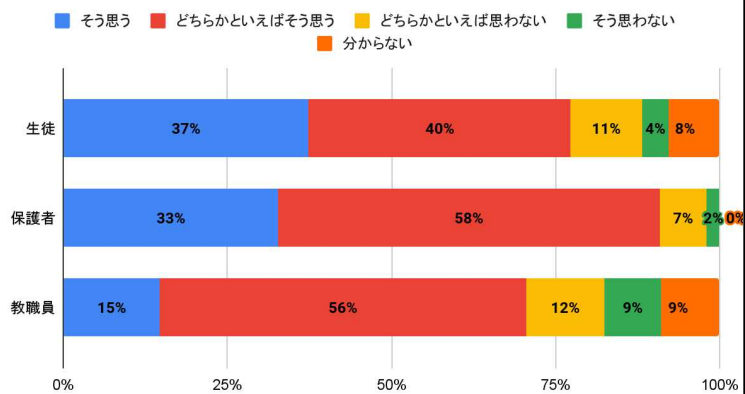
設問12. SNSについては、適切に利用している。



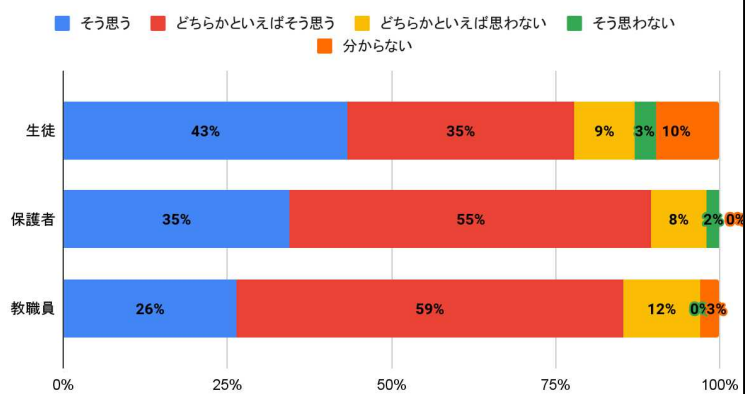
設問16. (学校行事について) 学校行事(紫紺祭、クラスマッチ、修学旅行等)は充実している。



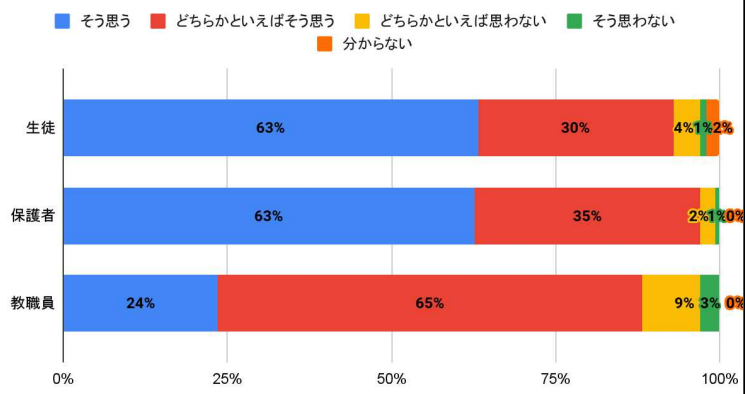
設問17. (進路指導について) 対外模擬試験の実施回数は適切である。



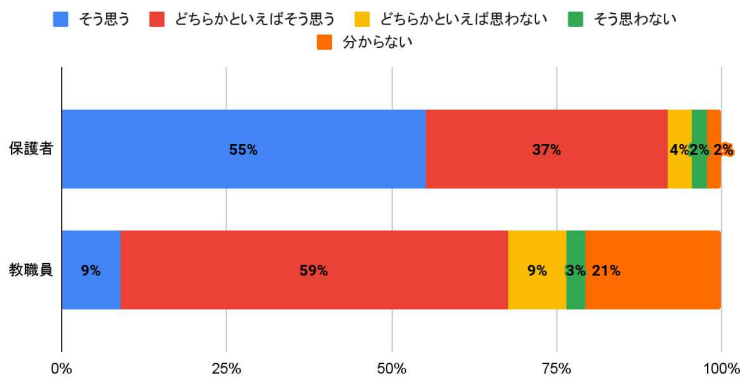
設問21. (施設設備について) ICT環境は充実している。



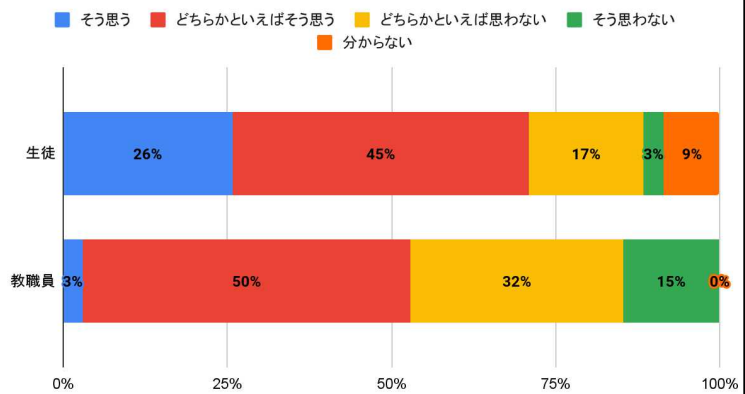
設問18. (施設設備について) 施設設備は充実している。



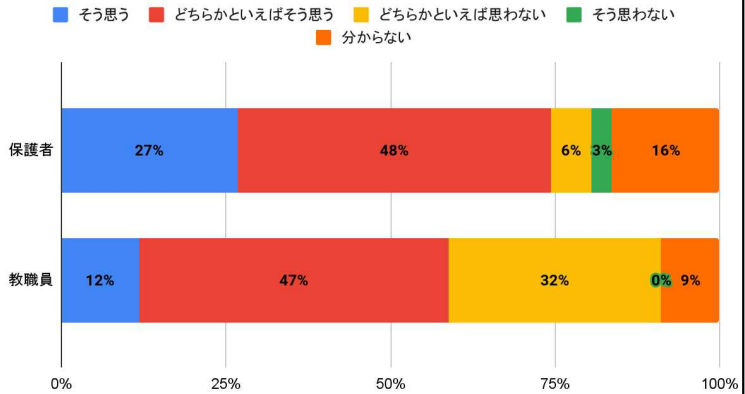
設問22. (学年・学級について) 保護者への連絡(担任からの連絡、学級通信、コロナ禍での緊急連絡等)は充実している。



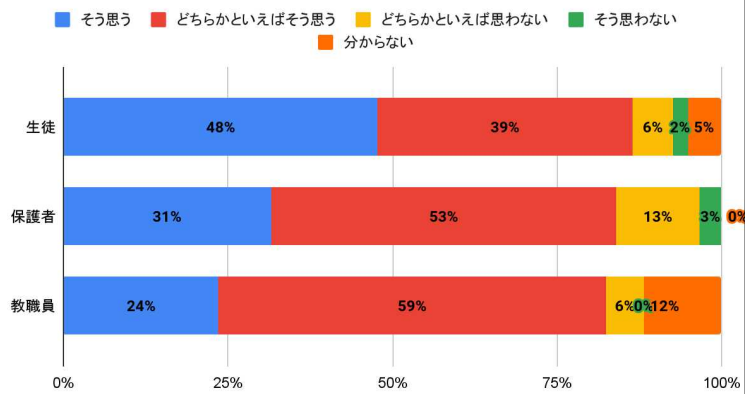
設問19. (生徒指導について) 生徒は気持ちのよい挨拶ができています。



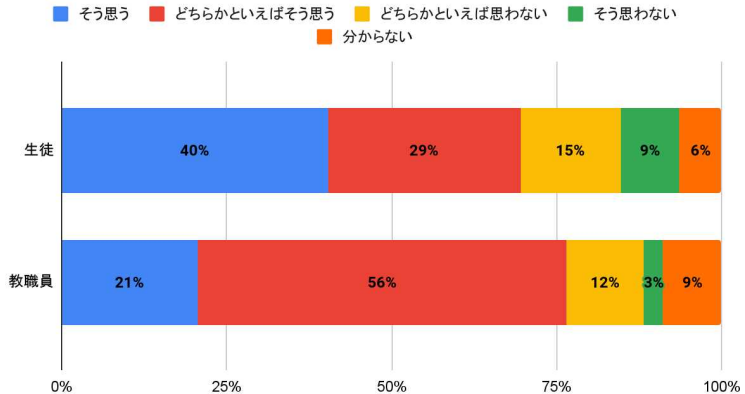
設問23. (学年・学級について) 奨学会や保護者会(学級懇談会等)は適切に行われている。



設問20. (進路指導について) 進路・進学情報の提供は適切である。

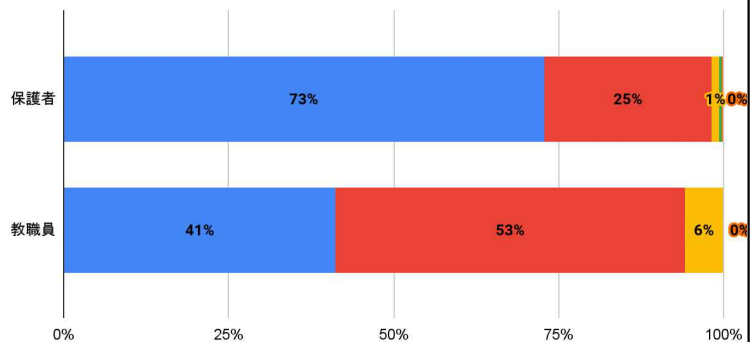


設問24. (学校行事について) 学校行事(紫紺祭、クラスマッチ、修学旅行等)は充実している。

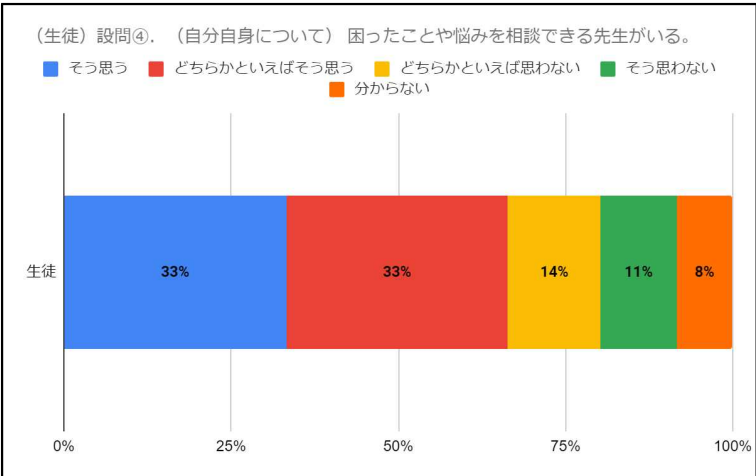
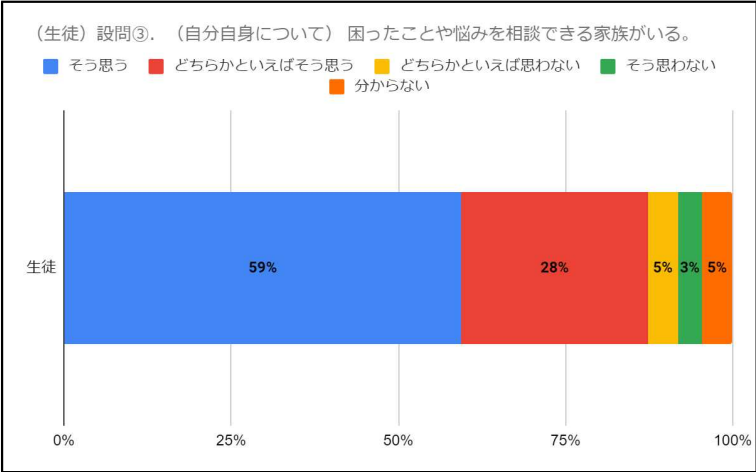
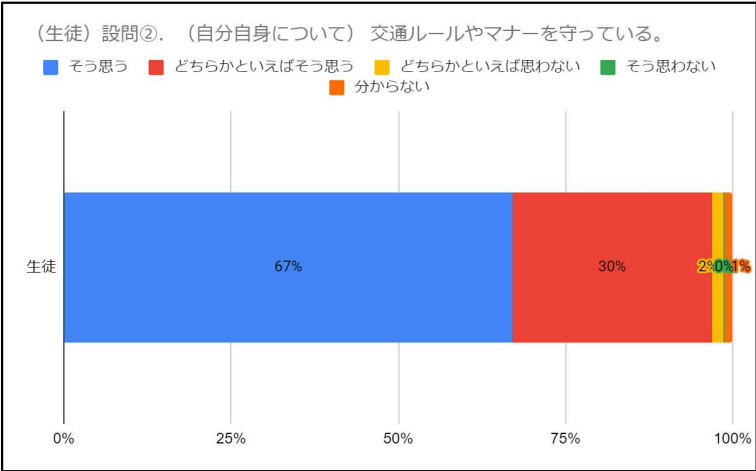
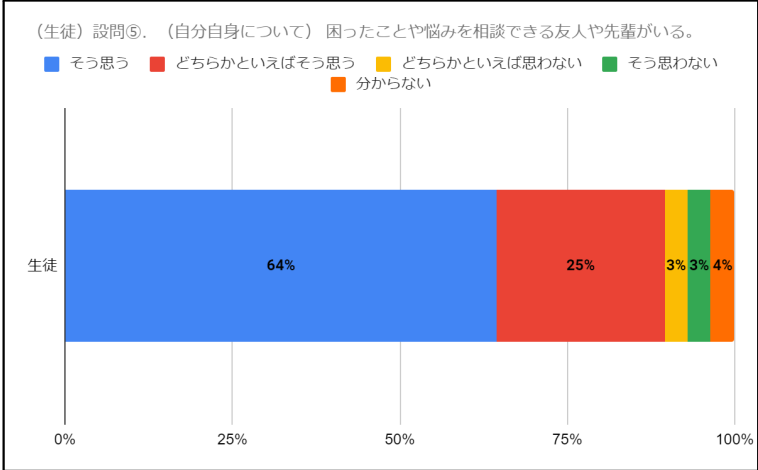
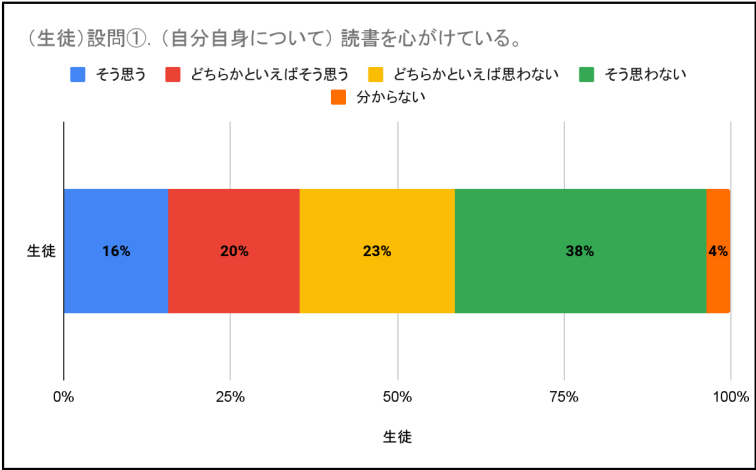


設問25、(新型コロナウイルスへの対応)Classiや一斉連絡メールなどは役に立っている。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ■ そう思わない
■ 分からない



生徒対象設問



学校関係者評価結果

○評価委員会からのご意見

- ・生徒や教職員の評価に差がでるのは仕方のないことだが、生徒や教職員の回答（考え）の溝が深かったり広がったりするのは良くない。ある程度近寄らせる努力をする必要がある。
- ・設問5「充実した学校生活を送っている」の回答が、生徒・保護者・教職員ともに同じような評価（高い評価）をしている。一番大切なのは、この設問の答えだと思う。
- ・新聞紙面で学付の活躍を見ると、大変嬉しくなる。
様々な部活動が今後も活躍して新聞紙面に載ってくれと嬉しく思うし、部活動振興会としても、学校が活躍する機会を増やすことができるような取組みを、保護者の皆さんと一緒にやっていきたいと思う。
- ・いち保護者としても、子どもの学校生活をみていて、非常に有意義な生活を送っていると思う。その分先生方にかかなりの負担をかけているところがあるのではないかと感じている。今後は、先生方の充実性やゆとりといったものが必要ではないかと思った。子どもが「学校生活が充実している」と感じ、親もそのように感じられるのは非常に嬉しいことである。高校生活が楽しかったかどうかということは、今後の人生を大きく左右するととても大事なことだと思う。改めて良い学校だなと思うが、そのためには先生方の働く環境についても同時に大事にしていきたいと思っている。
- ・子どもは親の背中を見て育つというが、学校にいる間は、先生方の背中をみて育つと思っている。先生たちが、スムーズに気持ちよく仕事ができる環境が一番だと思う。ここで働く教員、職員が誇りを持って働ける環境作りにも力をいれてほしい。
- ・今まで先生方も生徒もコロナに翻弄される日々があまりにも長すぎて、人生に1度しかない高校生活を不本意ながら縮小しなければならぬ状況で卒業していった生徒がたくさんいると思う。だからこそ一日も早くコロナが収束して、生徒の皆さんが「学付に行ってよかった」と思える生活を一日も早く取り戻すことを願っている。先生方もあらゆる可能性を探っていると思うが、活動できる余地があるならば、そこを探って実行していただきたいと思っている。

○学校関係者評価結果を踏まえた、今後の改善方策について

今回の評価においても、評価委員の方からの学校の発展を切に願う意見をたくさんいただくことができた。

昨年のアンケートの評価より生徒・保護者の評価に関してはほとんど評価値が向上していたこともあり、生徒の学習環境や学習活動について多くの肯定的なご意見をいただいたので、このことについてはさらに充実したものを目指していきたいと考えている。

「授業・家庭学習」における「教職員と生徒の意識の差」については、更なる向上を願う教職員の意識と現状でできることを正直に報告する生徒の意識とでは、乖離があるのはある程度当然とのご指摘をいただいたが、その差を縮めるべく生徒に働きかける姿勢を堅持するのも教職員の使命と考え、生徒にとって意欲的に取り組める教育の場の創成に力を注いでいきたい。

ICT教育については、これからも一人1台のPC導入を進めていきたい。勿論、それに伴う職員の研修も業者の支援を仰ぎながら定期的に企画し、より高い次元でのICT教育が行えるような研修の継続は不可欠であり、生徒にとって「新しい」「楽しい」授業になるように学校全体として取り組んでいきたい。

教職員の働き方改革について貴重なご意見をいただいた。担任業務の見直しや新しいシステムの導入の検討等々、現在置かれている状況が少しでも改善できるよう努力していきたい。

コロナ禍にあって、なかなかすべての学校行事を制限なしに行うことが難しいが、学校としては感染症対策に万全の留意をしながら、少しでも生徒の心に残るようなものにするために、関係各部署と連携をとりながら計画・実施していきたいと考えている。